

研究プロジェクト 2020年度活動報告 「ICT教育研究プロジェクト」

1. 研究課題

ICT教育の課題と展望

2. 概要・目的

本研究は、継続して「ICT教育の課題と展望」について調査、研究、分析を進めてきた。ここまでは、市内の公立小中学校の全児童生徒にタブレットPCを配布して、「ICTを活用した教育」に取り組んできた佐賀県武雄市を対象に、実証研究を進めてきた。その中で、未来を生きる子どもにとって、なぜ「ICTを活用した教育」が必要か、身につけるべき学力とは何かを検証してきた。

そもそも「ICTを活用した教育」の意義や期待される効果は、「学力向上」だけではない。高度デジタル化やビッグデータ、人工知能（AI）等の技術革新によって、社会で求められる能力や資質はたえず変化している。したがって、将来を生きる児童生徒や学生にとって、「生涯にわたって学び続ける力」を養うことが何よりも重要である。学び続けるためには、基礎的な知識や技能のほかに、学習意欲や学習習慣、スキル、協働する力が欠かせない。ICT教育がいかにこれに応えられるかが、本研究の課題となる。

昨年度は、研究を初等中等教育から、高等教育に広げ、高等教育におけるICT教育の推進の必要性の検証や、その効果を検証するスキームの研究を進めてきた。その上で、教育全般における教育の目標やアクティブ・ラーニングといった教育方法と、ICT/AIの活用について総合的に明らかにしてきた。

今年度は、コロナ禍における高等教育のオンライン教育の検証を行い、ここまでの研究成果とあわせて、このオンライン教育の効果と課題を閉めることを目的とする。

3. 代表・研究メンバー(構成)

代表者：松原 聡（東洋大学経済学部教授・現代社会総合研究所所員）

研究員：青木滉一郎（東洋大学総合情報学部講師・現代社会総合研究所所員）

加藤千恵子（東洋大学総合情報学部教授・現代社会総合研究所所員）

久米 功一（東洋大学経済学部准教授・現代社会総合研究所所員）

澁澤健太郎（東洋大学経済学部教授・現代社会総合研究所所員）

藤井 大輔（東京交通短期大学運輸科准教授・現代社会総合研究所客員研究員）

小河智佳子（都留文科大学情報センター特任准教授・現代社会総合研究所客員研究員）

齊藤由里恵（中京大学経済学部准教授）

植野 一芳（大東文化大学社会学部教授）

小松 昭吾（東洋大学総合情報学部助教）

穴山 悌三（長野県立大学グローバルマネジメント学部教授）

伊藤 昭浩（名古屋学院大学商学部教授）

戸田 香（京都府立大学公共政策学部非常勤講師・朝日放送テレビ）

4. 今年度の成果報告

2020年5月～6月「コロナ禍対応のオンライン講義に関する、学生・教員意識調査」アンケートの作成

2020年6月4日 研究会（Zoom）

2020年7月 アンケートの実施

2020年7月9日 研究会（Zoom）

2020年8月 アンケートの集計、分析

2020年9月17日 研究会（Zoom）

2020年10月14日 アンケート結果の報告（記者発表）

2020年12月12日 国際王教経済学会でシンポジウム開催